

令和2年1月1日

新学習指導要領実施に向けて

都立学校では新学習指導要領実施に向けて、新教育課程の作成に着手されていることと思います。東京都高等学校情報教育研究会(以下、都高情研)では共通教科情報科の実施について、以下のとおり情報提供をさせていただきます。

「情報Ⅰ」の2単位実施の記述について

○高等学校学習指導要領第1章総則第2款教育課程の編成の3

(2) 各教科・科目の履修等

各学科に共通する必履修教科・科目及び総合的な探究の時間(ア)全ての生徒に履修させる各教科・科目(以下「必履修教科・科目」という。)は次のとおりとし、その単位数は、(1)のイに標準単位数として示された単位数を下らないものとする。ただし、生徒の実態及び専門学科の特色等を考慮し、特に必要がある場合には、「数学Ⅰ」及び「英語コミュニケーションⅠ」については2単位とすることができ、その他の必履修教科・科目(標準単位数が2単位であるものを除く。)についてはその単位数の一部を減じることができる。

○東京都立高等学校 教育課程編成基準・資料 令和元年11月(26ページ)

・・・また、その場合においても、**標準単位数が2単位である場合には単位を減じることはできない。**

○東京都立高等学校 教育課程編成基準・資料 令和元年11月(528ページ)

②**標準単位数が2単位であるため、単位を減ずる事はできない。**

「情報Ⅰ」の同一年次の履修と設置学年等に関する記述

○高等学校学習指導要領第2章第10節情報第3款の1

(3) 各科目は、原則として**同一年次で履修させる**こと。また、「情報Ⅱ」については、「情報Ⅰ」を履修した後に履修させることを原則とすること。

○高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説「情報編」

第3章各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い

1 指導計画作成上の配慮事項

(2) 情報活用能力を更に高めるとともに他の各教科・科目等との連携を図ること

・・・前略・・・生涯にわたって情報技術を活用し現実の問題を発見し解決していくことができる力を育むことは、共通教科情報科の学習だけで達成されるのではなく、各教科・科目等の全ての教育活動を通じて達成されるものである。各教科・科目等においては、それぞれの見方・考え方やねらいに即して情報活用能力を育成する教育が行われる。共通教科情報科においては、情報教育の目標の観点に基づき、各教科・科目等と密接な連携を図りながら、カリキュラム・マネジメントを含めた計画的な指導によって**情報活用能力を生かし高める**よう指導計画の

作成に当たって次のような工夫が必要である。

・**履修年次を考慮する**

- ・指導内容の実施時期について、相互に関連付けながら決定する
- ・教材等を共有する
- ・学習課題と情報手段を活用した学習活動と実習の有機的な関連を図る

(3) 各科目の履修に関する配慮事項(順序, 同一年次での履修, 分割履修, 系統性への配慮)

ここでは、「情報Ⅰ」、「情報Ⅱ」の履修についての配慮事項を述べている。「情報Ⅰ」は、共通必修履修科目として、「情報Ⅱ」は、発展的な選択科目として高等学校段階における情報教育の内容として構成される標準単位数2単位の科目である。すなわち、これらの各科目の履修に当たっては、実習などの実践的・体験的な学習活動を通して各科目の目標を達成するように配慮し、指導の効果を高めるためには、複数年次にわたって分割し各年次1単位で履修させるよりも、**同一年次で集中的に2単位を履修させた方がより情報活用能力の定着に効果的**である。そこで、「情報Ⅰ」及び「情報Ⅱ」を教育課程に位置付ける際は、各科目は原則としてそれぞれを**同一年次に位置付ける**こととした。また、「情報Ⅱ」は、「情報Ⅰ」を履修した後に履修させることを原則とする。…以下省略…

○東京都立高等学校 教育課程編成基準・資料 令和元年11月(530ページ)

…生涯にわたって情報技術を活用し現実の問題を発見し解決していく事が出来る力を各教科・科目等の全ての教育活動を通じて育むことを念頭に、**情報Ⅰを1年次で履修する**など、履修年次を考慮する必要がある。

都立学校の新教育課程では、必修履修教科「情報Ⅰ」が同一年次での履修、更には1学年に設置され、学習指導要領にも記載があるように情報活用能力が育まれる事を願っています。

東京都高等学校情報教育研究会

会長 山下 一郎

(東京都立田無高等学校長)